

【基本編】

ステップ3 修飾語－話の基本骨格に修飾語を置く

1 形容詞・分詞……88

1-1 形容詞

1-2 数量を表わす形容詞

1-3 分詞

1-3-1 現在分詞

1-3-2 過去分詞

NOTE 「分詞+名詞」と「動名詞+名詞」の違い

NOTE 数量を表す他の形容詞

NOTE ハイフン形容詞にするには

2 副詞 ……94

2-1 副詞の意味で置かれる位置が決まる

2-2 何を修飾するかで置かれる位置が決まる

3 比較 ……96

3-1 原級の用法

3-2 比較級の用法

NOTE no, not を使った比較表現

3-3 最上級の用法

4 to 不定詞 ……100

4-1 形容詞用法

4-2 副詞用法

5 前置詞 ……102

5-1 形容詞用法

5-2 副詞用法

5-3 時・場所を表す主な前置詞

NOTE 時・場所以外の主な前置詞

6 形容詞節 ……107

6-1 関係代名詞 ……108

6-1-1 基本的用法

NOTE 同格 that 節と関係代名詞 that 節の違い

6-1-2 関係代名詞の所有格・目的格の用法

6-1-3 関係代名詞の省略

6-1-4 前置詞+関係代名詞の用法

6-1-5 前出の句・節をさす関係代名詞の用法

6-2 関係副詞 ……111

6-2-1 基本的用法

NOTE 複合関係詞

1 形容詞・分詞

1-1 形容詞

形容詞は、「どんな性質・状態にあるのか」を述べる語で、叙述用法と限定用法があります。

ここでは、名詞・代名詞を直接に修飾する限定用法を理解します。

形容詞単独では名詞・代名詞の前で、また形容詞に語句を伴う場合は名詞・代名詞の後ろで修飾します。

悠太は です **優秀な**学生 **全ての**科目において←

Yuta is an **excellent** student in **all** subjects.

📖 単独の形容詞は、名詞の前で修飾する

～見て **二番目の・大きな・白い・新しい・木造の・豪華な**家を←

Look at **the second big white new wooden luxury** house.

📖 形容詞を並べる場合は、「冠詞・所有代名詞・指示代名詞」+「many, much, 数詞」+「性質・状態(大小・色・新旧・材料)」+「名詞の形容詞的用法(luxury など)」の順で名詞を修飾する

NOTE: 英語では名詞が名詞を修飾することを「名詞の形容詞的用法」と言う
silk dress, leather case, vegetable soup, cotton shirt, など

会釈は です **習慣 特有の** 日本人に←

A bow is a **custom peculiar** to the Japanese.

📖 形容詞に語句を伴う場合は、名詞の後から修飾する

ジョンは 試みた 登ることを その壁を **2メートル高さの**←

John tried to climb the wall **two meters high**.

📖 形容詞が2語以上の語句の場合は、名詞の後から修飾する

NOTE: book 200 pages long, building twenty stories high, など

あります 何かが **高貴な** ケンには←

There is something **noble** about Ken.

📖 「-thing, -one, -body 代名詞」の場合は、形容詞は後から修飾

1-2 数量を表す形容詞

数量を表す形容詞は、a few, a little, many, much, enough などがあり、名詞の前に置かれます。

リサは 戻っているでしょう 2~3 日のうちに 修学旅行から←

Lisa will be back in **a few** days from a school excursion.

📖 数が少し／a few+数えられる名詞

ほとんどない／few+数えられる名詞

私は ~与えた エリに 多少の迷惑を 買い物において スーパーの←

I gave Eri **a little** trouble in the shopping of the supermarket.

📖 量・程度が少し／a little+数えられない名詞

ほとんどない／little+数えられない名詞

しますか あなたは ~持つ 多くの本を 歴史に関する←

Do you have **many** books on history?

📖 数が多い／many+数えられる名詞

NOTE: many は、a great (large) number of~などで代用

many は、主に疑問文と否定文に用いる

マリは ~費やしませんでした 多くの金を ~買うのに 指輪を←

Mari didn't spend **much** money to buy the ring.

📖 量・程度が多い／much+数えられない名詞

NOTE: much は、a great deal (a large amount) of~などで代用

much は、主に疑問文と否定文に用いる

います **たくさんの**乗客が その列車に 週日にもかかわらず←

There are **a lot of** passengers in the train in spite of a weekday.

📖 数、量・程度／a lot of~, lots of~, plenty of~, 主に肯定文に用いる

ありません **十分な**イスが 申込者用の セミナー室に←

There aren't **enough** chairs for applicants in the seminar room.

📖 数や量が十分な／enough+数えられる・数えられない名詞

1-3 分詞

分詞には、現在分詞と過去分詞があり、基本 5 文型の補語になる用法、修飾語として名詞を直接に修飾する用法、そして分詞構文があります。

ここでは、修飾語として名詞を直接に修飾する用法を理解します。
現在分詞と過去分詞それぞれに単独では名詞の前で、また語句を伴う場合は名詞の後ろで修飾します。

1-3-1 現在分詞

～入れなさい そのパスタを **沸騰している**湯の中に 用心して←

Put the pasta into the **boiling** water with caution.

📖 単独の現在分詞は、名詞の前で修飾する

その男の人は **話している** マリと です 私の兄←

The man **talking** with Mari is my older brother.

📖 現在分詞が語句を伴う場合は、名詞の後から修飾する

NOTE: 現在分詞が語句を伴う場合は、形容詞節の関係代名詞に置き換えることができます。

The man who is talking with Mari is my older brother.

しますか あなたは ～知る その少年を **撮っている** 写真を むこうで←

Do you know the boy **taking** a picture over there?

📖 現在分詞が語句を伴う場合は、名詞の後から修飾する

NOTE: 現在分詞が語句を伴う場合は、形容詞節の関係代名詞に置き換えることができます。

Do you know the boy that is taking a picture over there?

1-3-2 過去分詞

ジョンは ~見つけた **なくした**手帳を 公園で←

John found the **lost** notebook in the park.

📖 単独の過去分詞は、名詞の前で修飾する

その絵は **描かれた** リサによって ~とった 賞を コンテストで←

The picture **painted** by Lisa won a prize in the contest.

📖 過去分詞が語句を伴う場合は、名詞の後から修飾する

NOTE: 過去分詞が語句を伴う場合は、形容詞節の関係代名詞に置き換えることができます。

The picture which was painted by Ken

won a prize in the contest.

これが です その箱 **送られた** 福岡から 航空便で←

This is the box **sent** from Fukuoka by air mail.

📖 過去分詞が語句を伴う場合は、名詞の後から修飾する

NOTE: 過去分詞が語句を伴う場合は、形容詞節の関係代名詞に置き換えることができます。

This is the box which was sent from Fukuoka by air mail.

NOTE 「分詞+名詞」と「動名詞+名詞」の違い

「分詞+名詞」は「~している・された...」という意味で、名詞を修飾

boiling water(熱湯), rising sun(朝日), boiled egg(ゆで卵), fried chicken(フライドチキン), frozen food(冷凍食品), iced tea(アイスティー), stained glass(ステンドグラス), used car(中古車), smoked salmon(スモークサーモン), など

「動名詞+名詞」は「~ための・用の...」という意味で、名詞を修飾

sleeping bag / (寝るための袋) 寝袋

washing machine / (洗濯用の機械) 洗濯機 など

NOTE 数量を表す他の形容詞

an only+単数名詞 / 唯一つの

This is an only chance. 唯一つの機会

each+単数名詞 / めいめいの

Each boy has his umbrella. めいめいの少年

either+単数名詞 / どちらかの、どちらの

Either viewpoint is right. どちらの見方も

both+複数名詞 / 両方の

There are books on both ends of the self. 両端に

other+複数名詞 / ほかの

She changed into other clothes. ほかの着物

another+単数名詞 / もう一つの

Give me another cup of tea. もう一杯のティー

any

any+単数名詞 / どの～も

Any book will do. どの本でも

any+単数名詞 / 何らかの、誰かの

Have you any guidebook? 何かの旅行案内書

any+複数普通名詞 / いくつかの、何人かの

Has he any children? 何人かの子供

every

every+単数名詞 / どの～もみな、あらゆる

Every train was crowded. どの列車もみな

every+序数詞+単数名詞 / ～ごとに

Every fifth boy has a bicycle. 5人に1人の少年

every+基数詞+複数名詞 / ～おきに

He goes to hospital every three days. 3日おきに

all

all+単数名詞 / 全ての、～中

All Tokyo is changing. 東京中

all+複数名詞 / 全ての

All answers were wrong. 全ての答え

NOTE ハイフン形容詞にするには

名詞-free～／名詞がない～

trouble-free 問題がない

duty-free (or tax-free) shop 税が無い店、免税店

名詞-形容詞～／名詞をどうする～

water-repellent jacket 水を通さないジャケット

tax-deductible donation 税金を軽減してもらえる寄付

earthquake-prone region 地震多発の傾向のある地帯

user-friendly computer 使用者にとって使いやすいコンピューター

名詞-現在分詞～／名詞をどうする～

problem-solving ability 問題を解決する能力

fact-finding committee 事実を調査する委員会

cost-cutting measures 経費を削減する対策

名詞-過去分詞～／名詞にどうされている～

snow-capped mountains 雪に覆われた山々

battery-powered electric razor 電池にパワー供給されている電気かみそり

Los Angeles-based dealer ロスに本拠が置かれている販売業者

management-oriented research 経営に焦点が当てられている研究

special-designed vehicle 特殊にデザインされた車両

blood-stained shirt 血にまみれているシャツ

drug-related crimes 麻薬に関連する犯罪

2 副詞

2-1 副詞の意味で置かれる位置が決まる

彼女のいとこたちは **住んでいる** **そこに** 定年後に←

Her cousins **live there** after their retirement age.

📖 自動詞を修飾する場所の副詞は、自動詞の後ろ

時に エリは である 眠い(状態)←1、彼女は **話をする** **ゆっくり**←2

When Eri is sleepy, she **talks slowly**.

📖 自動詞を修飾する様態の副詞は、自動詞の後ろ

ので その場所が 満車だった←1

ケン は **～止める** ことが出来なかった 車を **ここに**←2

Because the place was full, Ken couldn't **park** his car **here**.

📖 他動詞を修飾する場所の副詞は、目的語の後ろ

私の父は **～踊った** ワルツを **楽しそうに** 若い女性と←

My father **danced** a waltz **cheerfully** with a young lady.

📖 他動詞を修飾する様態の副詞は、目的語の後ろ

悠太は **時々** 散歩をします 犬と共に 気持ちの良い朝に←

Yuta **sometimes** takes a walk with his dog in comfortable morning.

📖 頻度／always(いつも), usually(普通), often(しばしば), seldom(めったに～ない), never(決して～ない)などを表す副詞は、動詞の前

私は **ほとんど** ～終えた 宿題を 昨日までに←

I **almost** finished my homework by yesterday.

📖 程度／nearly(ほぼ), barely(かろうじて), completely(完全に・すっかり), hardly, scarcely(ほとんど～ない)などを表す副詞は、動詞の前

ので ある 面白いテレビ番組が←1、エリは **いつも** います 家に 日曜に←2

As there are interesting TV programs,

Eri is **always** at home on Sundays.

📖 頻度・程度の副詞は、be 動詞の後ろ

2-2 何を修飾するかで置かれる位置が決まる

幸運にも リサは ~合格した その試験に←

Fortunately Lisa passed the examination.

📖 文全体を修飾、または筆者の判断を述べる副詞は文頭

NOTE: 確実性-certainly, surely obviously, clearly, probably, など
気持ち・意見-fortunately, happily, naturally, luckily, など

悠太は 決して承諾しなかった 結果を 裁判の←

Yuta **never** consented to the result of the trial.

📖 文全体と動詞とを同時に修飾する副詞は、動詞の前

これは です 非常に面白いマンガ←

This is a **very interesting** comic.

📖 副詞が形容詞を修飾

エリは 殆どいつも ~持ち歩いている 携帯電話を←

Eri **almost always** carries a cellular phone with her.

📖 副詞が他の副詞を修飾

~引きなさい 一本の線を 正確に その絵の下に←

Draw a line **exactly below the illustration**.

📖 副詞が副詞句を修飾

マリは 到着した すぐ後に そのバスが 出た←

Mari arrived **soon after the bus left**.

📖 副詞が副詞節を修飾

3 比較

形容詞・副詞は原級・比較級・最上級の 3 つの形があり、この語形変化を比較と言います。ここでは、比較の原級・比較級・最上級の 3 つの用法を理解します。

3-1 原級の用法

原級は、as, so と共に用いられ「**～と同じほど・・・**」という意味で、両者の比較が同程度を表します。

ケン は ～持っています **同じくらい多くの本を のと** リサが持っている←

Ken has **as many** books **as** Lisa has.

📖 as+many+数えられる名詞+as...

マリは ～持っていない **それほど多くの興味を** 音楽に

ように あなたが持っている←

Mari does **not** have **as (so) much** interest in music **as** you have.

📖 as(so)+much+数えられない名詞+as...

この車は です **5 倍ほど重い と比べて** あのもの←

This car is **five times as** heavy **as** that one.

📖 数詞+time+as+形容詞+as...

悠太は ～解いた **10 もの**問題を 5 分以内に←

Yuta solved **as many as ten** questions within five minutes.

📖 as many as+数詞+数えられる名詞

ので あります 急な仕事が←1、戻ってください **できるだけ早く**←2

Since there is an urgent job, please come back **as soon as possible**.

📖 as+副詞+as possible

ケン は 働きます **誰にも劣らず** 一生懸命に 新入社員として←

Ken works **as hard as anybody** as a new employee.

📖 as+副詞+as anybody

ジョンは です アナウンサー **というよりむしろ** 解説者←

John is an announcer **rather than** a commentator.

📖 ~rather than...

3-2 比較級の用法

比較級は、2つのものを比べて「AはBよりも～」という時に用います。

気候は日本のです **もっと温暖** 韓国より←

The climate of Japan is **milder than** South Korea.

📖 比較級 + than...

ジョンはです **5センチ背が高い** エリより←

John is **five centimeters taller than** Eri.

📖 比較の程度の差／数詞 + 比較級 + than...

悠太はです **二歳年上** マリより←

Yuta is two years **senior to** Mari.

📖 thanではなくtoを用いる比較

NOTE: その他、junior, superior, inferior, prefer, など

ケンはです **背の高いほう** **二人のうち**←

Ken is **the taller of the two**.

📖 the + 比較級 + of the two

この石はです **もっと重いということはない** 相撲力士より←

This stone is **not heavier than** Sumo wrestler.

📖 not + 比較級 + than...

リサはです **ずっと具合がよい** 昨日より←

Lisa is **much better than** yesterday.

📖 比較級の強調／～much better than...

NOTE: その他、even, still, far, など

悠太はです **もっと巧妙な人** **頭の良い人というより** 営業交渉において←

Yuta is **more** clever man **than** smart man in business negotiations.

📖 同一人・物の性質の比較／more～than...

ジョンはです **勤勉ではない** **悠太ほど** 現在の仕事において←

John is **less** hard-working **than** Yuta in the present job.

📖 ...ほど ～ない／less～than...

NOTE no, not を使った比較表現

ジョンは です 同じようにユーモアの感覚がない 他の人たちと←
John is **no more** sense of humor **than** the others.

📖 否定の意味

リラックスすることは です 劣らず大切 働くことに←
Relaxing is **no less** important **than** working.

📖 肯定の意味

ケン は 払った 私に ほんの 1000 円だけを その仕事に←
Ken paid me **no more than** 1,000 yen for the job.

📖 数量が少ないことを強調 / no more than + 数詞

NOTE: 「それより多くはならない」という「少なさ」が強調される

悠太 は 払った 私に 5000 円ほども多くを その仕事に←
Yuta paid me **no less than** 5,000 yen for the job.

📖 数量が多いことを強調 / no less than + 数詞

NOTE: 「それより少なくはならない」という「多さ」が強調される

せいぜい 20 人しかいなかった その劇場に 郊外の←
There were **not more than** twenty people

in the theater of the suburbs.

📖 数量の上限を強調 / not more than + 数詞

NOTE: not more than は at most(せいぜい)とほぼ同じ意味

費用は リフォームの なるでしょう 少なくとも 100 万円に←
The cost of the reform will be **not less than** 1,000,000 yen.

📖 数量の下限を強調 / not less than + 数詞

NOTE: not less than は at least(少なくとも)とほぼ同じ意味

3-3 最上級の用法

最上級は、3つ以上のものを比べて「...の中でいちばん～」という時に用います。

2月 は 日本における です 最も寒い月 1年のうちで←
February in Japan is **the coldest** month of the year.

📖 the+最上級+名詞+of...

悠太は 走ることが出来る もっとも速く クラスの中で←
Yuta can run **fastest** in his class.

📖 最上級+in...

リサは だった ずば抜けて最も良い生徒 クラスで←
Lisa was **much the best** student in her class.

📖 最上級の強調/much+the+最上級+名詞

王さんは です 最も偉大な打者 これまでにいたところの←
Mr. Oh is **the greatest** batter that has ever lived.

📖 the+最上級+名詞+that 節

長島さんは です 最もすばらしい野球選手の一人 日本で←
Mr. Nagashima is **one of the best** baseball players in Japan.

📖 one of the+最上級+複数名詞

ジョンは です 2番目に背の高い学生 このクラスで←
John is **the second tallest** student in this class.

📖 the+序数詞+最上級+名詞

これは です 最も高くない(安い)コンピューター この店で←
This is **the least expensive** computer in this store.

📖 the+least+形容詞+名詞

4 to 不定詞

to 不定詞は、基本 5 文型の名詞用法、修飾語の形容詞用法・副詞用法があります。

ここでは、修飾語の形容詞用法・副詞用法を理解します。

4-1 形容詞用法

形容詞用法は「**～するための**」の意味で、名詞・代名詞を後ろから修飾して、形容詞と同じ働きをします。

私は ~持っている 鍵を **～開けるための** このドアを←
I don't have the key **to unlock** this door.

📖 名詞 key を修飾

私は ~探している 誰かを **～助けるための** 私を 仕事上で←
I am looking for someone **to help** me on the work.

📖 代名詞 someone を修飾

ケン は ~いなかった 友達が **遊ぶための**←
Ken had no friend **to play with**.

📖 名詞 friend を修飾

私は ~ほしい 何かを あたたかい **飲むための**←
I want something warm **to drink**.

📖 代名詞 something を修飾

人間は ~持っている 能力を **～記憶をするための** あらゆることを←
Human beings have the ability **to remember** everything.

📖 前の名詞 ability を説明して同格になる

4-2 副詞用法

副詞用法は、目的、原因・理由、判断の根拠、思いがけない結果などの意味を表し、動詞・形容詞を後ろから修飾して、副詞と同じ働きをします。

- a 目的「**～するために**」の意味で、動詞を修飾
- b 原因・理由「**～して・・・だ**」の意味で、感情を表す be 動詞+形容詞を修飾
- c 判断の根拠「**～するとは・・・だ**」の意味で、形容詞を修飾
- d 思いがけない結果「**～して、(その結果)・・・だった**」を表す to 不定詞

ジョンは 行くつもりです イタリアに **～勉強するために** 音楽を←

John will go to Italy **to study** music.

📖 目的を表す to 不定詞句が、動詞を修飾

エリは 働いた 一生懸命に **～貯めるために** お金を←

Eri worked hard **in order to save** money.

📖 目的をはっきりさせる in order to 不定詞句が、動詞を修飾

リサは 驚いた **～会って** マリに ここで←

Lisa was surprised **to see** Mari here.

📖 原因・理由を表す to 不定詞句が、感情の be 動詞+形容詞を修飾

NOTE: その他、be glad, be happy, be sorry, be pleased, など

あなたは です 不注意な(人) **～するとは** そのような間違いを←

You are careless **to make** such a mistake.

📖 判断の根拠を表す to 不定詞句が、形容詞を修飾

私の兄は 成長して←1、 **になった** プロゴルファー←2

My older brother grew up **to be** a professional golfer.

📖 思いがけない結果を表す to 不定詞句

NOTE: ～, never to 不定詞「～して、(そして)二度と...しなかった」

～, only to 不定詞「～して、(しかし結局)...しただけのことだった」

5 前置詞

前置詞は、名詞・代名詞・動名詞などの名詞の働きをする語句の前に置かれ、前置詞句として形容詞用法・副詞用法があります。

5-1 形容詞用法

形容詞用法は前置詞句が名詞・代名詞を後ろから修飾して、形容詞と同じ働きをします。

私たちは ~知っています 全員の少年達を **この部屋の**←

We know all the boys **in this room**.

📖 前置詞+名詞が、前の名詞を修飾

そのレコードは **机の上の** です 私のもの←

The record **on the table** is mine.

📖 前置詞+名詞が、前の名詞を修飾

5-2 副詞用法

副詞用法は前置詞句が動詞・形容詞などを修飾して、副詞と同じ働きをします。

私たちは ~勉強した 英語を **黙って**←

We studied English **in silence**.

📖 前置詞+名詞が、動詞を修飾

私たちは 行った **公園に**、そして 座った **ベンチに**←

We went **into the park** and sat **on the bench**.

📖 それぞれの前置詞+名詞が、それぞれの動詞を修飾

5-3 時・場所を表す主な前置詞

at six o'clock / 6 時に

📖 at～ / 「時の一点」時刻などを表す

on Sunday / 日曜日に

on May 4 / 5月4日に

📖 on～ / 「日」を表す

in 1985 / 1985年に

📖 in～ / 「時間の幅」月・季節・年などを表す

悠太は 勉強した 11時まで 昨夜←

Yuta studied **until** eleven o'clock last night.

📖 ～まで(継続の期限を表す) / till or until

ジョンは ～終わることが出来た 宿題を 10時までに←

John could finish the home work **by** ten.

📖 ～までに(完了の期限を表す) / by

私は 準備するでしょう 1時間半のうちに←

I will be ready **in** an hour and a half.

📖 ～のうちに、の間に、(今から)～の後に、たつて(時の経過を表す) / in

ケン は 戻るでしょう 1週間以内に←

Ken will come back **within** a week.

📖 ～以内に(期間内を表す) / within

マリは ～買いました その洋服を 店で 神戸にある←

Mali bought the dress **at** a shop **in** Kobe.

📖 ～で(場所の1地点) / at, ～にある(広さのある地点) / in

あります 一枚の絵が 壁(の上)に←

There is a picture **on** the wall.

📖 ～(の上)に(天井や壁などもonとなる) / on

飛行機は 飛ぶ 高く 雲の上を←

The airplane flies high **above** the clouds.

📖 ~の上に(上方に)／above

NOTE: ~の下に(下方に)／below

蛍光灯は ぶら下がっている テーブルの上に←

The fluorescent light hangs **over** the table.

📖 ~の上に(真上に)／over

NOTE: ~の下に(真下に)／under

私たちは 座っています 机のまわりに←

We are sitting **around** the desk.

📖 ~のまわりの位置に(静止状態)／around

地球は 回っています 太陽のまわりを←

The earth moves **round** the sun.

📖 ~のまわりを回って(回転運動)／round

悠太は 歩いた 通りをあちこちと←

Yuta walked **about** the street.

📖 ~のあたりに／about

NOTE: ~のそばに／by, beside, ~の近くに／near, ~のうしろに／behind

あります 一台の車が 走るための 博多と大阪間を←

There is a car to run **between** Hakata **and** Osaka.

📖 ~2つの間に／between A and B

NOTE: ~3つ以上の間に／among

エリは 入った お店に 通りを横切って←

Eri entered a shop **across** the street.

📖 ~を横切って／across

NOTE: ~を通り抜けて／through, ~に沿って／along

NOTE 時・場所以外の主な前置詞

at

- 目標 Throw a ball at a tree. 木をめがけて
従事 He is at work. 仕事
速度 The car is running at full speed. 全速力で
原因 She got angry at his words. 彼の言葉を聞いて

by

- 手段 She goes to school by bus. バスで
行為者 It has done by him. 彼によって
媒体 He held me by the arm. 私の腕を
単位 Butter is sold by the pound. ポンド単位で

for

- 目的 It is good for health. 健康に
She plays the piano for me. 私のために
賛成 I am for the plan. 賛成だ
関連 It's warm for February. 2月としては

from

- 分離 He saved me from the danger. 危険から
区別 My opinion is different from yours. あなたのものと
原料 Butter is made from milk. 牛乳から

in

- 環境・状態 We are walking in the rain. 雨に降られて
He is in good health. 健康にして
She is in love. 恋をして
様態・形態 They stand in line. 列になって
手段 A letter in English. 英語の

of

- 所有 a member of the committee. 委員会の
性質・特徴 a man of courage. 勇気のある
材料・構成 a table of wood. 木製の
同格 possibility of success. 成功という
関連・対象 He is speaking of it. そのことを

on

- 手段・方法 I knew it on TV. テレビで
I went to the theater on foot. 徒歩で
根拠・基準 His theory is based on his experience. 経験に
状態 The house is on fire. 燃えている
関連 He is away on business. 仕事で

To

- 比較 the score is 5 to 6. 5 対 6
帰属 The bag belongs to me. 私に
合致 It's not fashioned to my taste. 私の好みに
状態 a man was frozen to death. 死にいたる
結果 「to+所有格+感情名詞」は、特定感情を表し文全体を修飾
to my surprise, ~ 驚いた事には、~
to my relief, ~ ほっとしたことには、~
to my satisfaction, ~ 満足した事には、~
to my disappointment, ~ がっかりした事には、~
to my regret, ~ 残念な事には、~
to our joy, ~ うれしいことには、~

with

- 道具 I cut it with knife. ナイフで
所有 He is a man with black hair. 黒い髪をもった
付帯状況 He is standing with his eyes closed. 目をつぶって
原因・理由 He is angry with me. 私について
関連 It has something to do with~. ~に関係がある

6 形容詞節

形容詞節は、関係代名詞 who, which, that, (what)、関係副詞 when, where, why, how があります。

形容詞節は、次のように Japa-Lish の「日本語式」と「英語式」に違いがあります。

日本語式

私は 持っています 友達を ところの 住んでいる 都会に←
I have friends who live in the town.

関係代名詞「ところの / who, which, that」・関係副詞「ところの / when, where, why, how」以下の節が形容詞節になり、先行詞の主語・目的語を修飾します。

英語式

私は 持っています 友達を その友達は 住んでいる 都会に
I have friends who live in the town.

英語式は、先行詞の主語・目的語に応じて、関係代名詞 who, which, that・関係副詞 when, where, why, how を使い、追加説明をします。

以上から、形容詞節の基本的用法では「日本語式」と「英語式」の両方で実践していますが、それ以外の項目は「英語式」の方が理解しやすいため、「英語式」だけで実践しています。

6-1 関係代名詞

6-1-1 基本的用法

女の人 は **ところの** ~餌をやっている 犬に 庭で です 私の叔母 ←

The woman **who** is feeding dogs in the garden is my aunt.

女の人 は **その人は** ~餌をやっています 犬に 庭で です 私の叔母

📖 先行詞が「人」の場合は、who を使う

私は ~探していました 失くした財布を **ところの** 届けられていた 交番に ←

I was looking for the lost wallet **which** was sent to the police box.

私は ~探していました 失くした財布を **それは** 届けられていました 交番に

📖 先行詞が「物」の場合は、which を使う

私は ~知っています 有名な女性を **ところの** ~演奏している バイオリンを ←

I know the famous lady **that** is playing the violin.

私は ~知っています 有名な女性を **その人は** ~演奏しています バイオリン
を

📖 先行詞が「人・動物・事物」のいずれの場合でも、that が使える

全てのテーブルは **ところの** ある 我家に 作られました イタリアで ←

All the tables that are in our house are made in Italy.

全てのテーブルは **それらが** ある 我家に 作られました イタリアで

📖 that の特別用法: The + 最上級(最も~な)、the first(最初の)、the last(最後の)、the very(まさにその)、the only(唯一の)、all, every, any, no などによって強く限定された先行詞の場合は、関係代名詞に that が用いられる

NOTE 同格 that 節と関係代名詞 that 節の違い

私達は 驚きました そのニュースに **という** 隣人が 亡くなった 昨夜 ←

We were surprised at the news **that** a neighbor was dead last night.

📖 同格 that 節は、that 節がすぐ前の名詞 news を説明して同格になる

私達は 驚きました そのニュースに **ところの** 告げられ 私たちに 今朝 ←

We were surprised at the news **that** was told us this morning.

📖 関係代名詞 that 節は、that 節が形容詞節として先行詞 news を修飾する

6-1-2 関係代名詞の所有格・目的格の用法

英語式は、主節の先行詞を、従属節にて「所有格 whose＋名詞」・「目的格 whom, which, that」を使い、追加説明をします。

マリは ～持っています 親友を その人の性は です 同じ 彼女と
Mari has a close friend **whose family name** is the same as her.

📖 その人の性は／所有格 whose＋名詞

悠太は です 賢い人 その人を 誰もが ～信頼しています このクラスで
Yuta is the smart person **whom** everyone trusts in this class.

📖 その人を／目的格 whom＋主語＋他動詞

パリは です 憧れの街 その街に 誰もが ～訪れたいと思っています 一度
Paris is a longed-for town **which(that)** anyone wants to visit once.

📖 その街に／目的格 which (that)＋主語＋他動詞

6-1-3 関係代名詞の省略

英語式は、目的格の関係代名詞 whom, which, that が、先行詞と重複するため省略されます。

学生達は (その学生達に) 私の父が ～教えた
勉強しました 一生懸命に 彼らの将来のために

The students (**whom**) my father taught studied hard for their future.

📖 目的格の関係代名詞(その学生たちに／whom) が省略される

家は (その家を) 私達が ～建てた 備えています 最新の太陽光発電装置を
The house (**which/that**) we built
has the latest solar power generation device.

📖 目的格の関係代名詞(その家を which/that) が省略される

6-1-4 前置詞+関係代名詞の用法

「英語式」は、主節の先行詞を、従属節にて「前置詞+関係代名詞 which, whom」にして、追加説明をします。

これらが です 書類 その書類について ケンは ~説明してきました 悠太に
These are the documents about which Ken have explained Yuta.
📖 その書類について／前置詞 about+関係代名詞 which

ここは です 美しい地元の街 その街で 悠太は 生まれました 1999 年に
Here is the beautiful local town in which Yuta was born in 1999.
📖 その街で／前置詞 in+関係代名詞 which

彼は です 有名なTVタレント その人に
リサは 送りました ファンレターを 何度も
He is the famous TV talent to whom Lisa sent fan letters many times.
📖 その人に／前置詞 to+関係代名詞 whom

6-1-5 前出の句・節をさす関係代名詞の用法

「英語式」は、主節の句または主節全体を、従属節にて関係代名詞 which を使い、追加説明をします。
書き表すときは、関係代名詞 which の前にコンマを必要とします。

マリは ~試みましたが ~解くことを その難しい問題を、
そのことを 彼女は 達成することができました どうにか
Mari tried to solve the difficult problem,
which she was able to accomplish somehow.
📖 主節の句を関係代名詞 which を使い、従属節の目的語にする

ケンは 成功しました 開発に 新システムの、
そのことは びっくりさせました 多くの人達を 親戚の
Ken succeeded in the development of the new system,
which surprised many people of the relative.
📖 主節全体を関係代名詞 which を使い、従属節の主語にする

6-2 関係副詞

6-2-1 基本的用法

日曜日は です その日 **ところの** ジョンが 仕事が無い する 会社のために←

Sunday is the day **when** John has no work to do for his company.

日曜日は です その日 **その日に** ジョンは 仕事がない する 会社のために

📖 先行詞が「the day その日／時」の場合は、when を使う

～教えてください 私に 時間を **ところの** 次の便が 到着する 羽田空港に←

Tell me the time **when** the next flight will arrive at Haneda airport.

～教えてください 私に 時間を **その時に** 次の便が 到着する 羽田空港に

📖 先行詞が「time 時間／時」の場合は、when を使う

これが です 古い家 **ところの** ケンの家族が 住んでいる 昔から←

This is the old house **where** Ken's family lives from old days.

これが です 古い家 **その場所に** ケンの家族が 住んでいます 昔から

📖 先行詞が「house 家／場所」の場合は、where を使う

それが です 理由 **ところの** あなたが 見える あまりにも幸せに 最近←

That is the reason **why** you look so happy recently.

それが です 理由 **その理由で** あなたが 見えます あまりにも幸せに 最近

📖 先行詞が「reason 理由」の場合は、why を使う

NOTE: 関係副詞 why は「This(That) is why～」の形で使われる

これが です 方法 **ところの** 私の姉が ～終えた その仕事を 1日で←

This is the way **how** my older sister finished the work in a day.

これが です 方法 **その方法で** 私の姉は ～終えました その仕事を 1日で

📖 先行詞が「way 方法」の場合は、how を使う

NOTE: 関係副詞 how は「This(That) is how～」の形で使われる

NOTE 複合関係詞

関係代名詞・関係副詞に-ever が付いているものを複合関係詞と言います。

複合関係代名詞

whoever「**～する人はだれでも**」・whichever「**～するものはどちらでも**」・whatever「**～するものは何でも**」という意味の名詞節になります。

私は あげるつもりです その本を 人はだれでも ほしい それを←
I will give the book **whoever** wants it.

自由にお取りください ものはどれでも あなたが 食べたい ビュッフェで←
Please help yourself **whichever** you want to eat in the buffet.

ものはなんでも 残される 机の上に です 私のもの←
Whatever is left over on the desk is mine.

複合関係副詞

whenever「**～する時ならいつでも**」・wherever「**～するところならどこでも**」という意味の副詞節になります。

時はいつでも ジョンが 来る 彼は 持ってきます 私に プレゼントを←
Whenever John comes, he brings me a present.

ところならどこでも 私が 行く 私の息子は ついてきます 私に←
Wherever I go, my son follows me.

譲歩を表す複合関係詞

whoever「**誰が～しようとも**」・whichever「**どれ・どちらを～しようとも**」・whatever「**何が・何を～しようとも**」・whenever「**いつ～しようとも**」・wherever「**どこで～しようとも**」、however「**どんなに～しようとも**」は、形容詞・副詞の前に置かれます。

どんなに速く ケンが 走っても 彼は 追いつくことが出来なかった 悠太に←
However fast Ken runs, he couldn't catch up with Yuta.